

インフルエンザ週報 2016 年 第 6 週 (2 月 8 日 ~ 2 月 14 日)

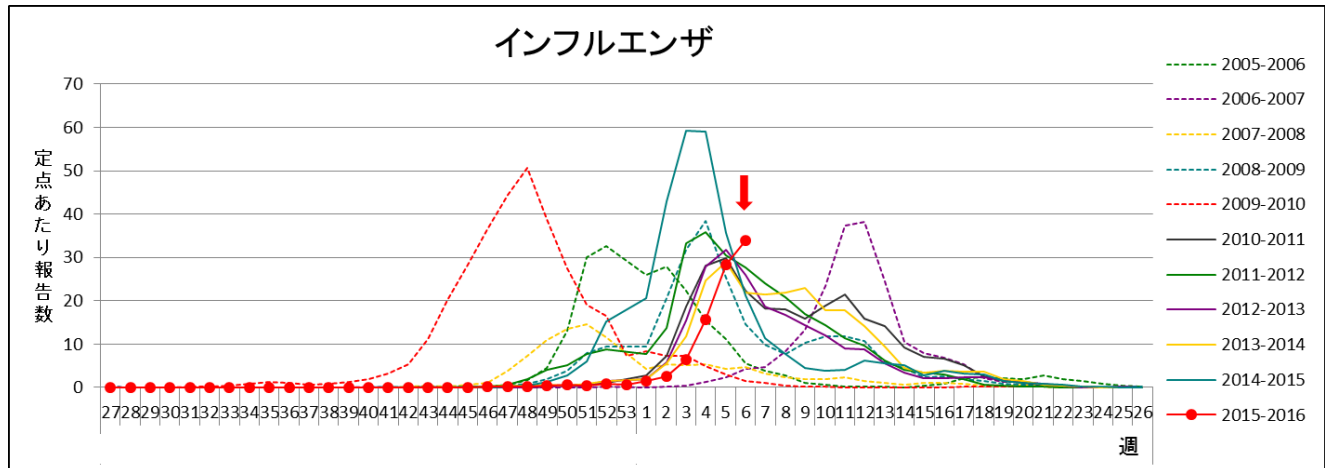
岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました。(2 月 18 日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 2846 名（定点あたり 33.88 人）の報告がありました。（84 定点医療機関報告）
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 136 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 13 名の報告がありました。

【第 7 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 106 施設でありました。（2 月 15 日 ~ 18 日）



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 2846 名（定点あたり 28.32 → 33.88 人）の報告があり、前週より増加しました。県全体の定点あたり報告数が、警報発令基準の 30.00 人を上まわり、今後も流行が継続する可能性があることから、2 月 18 日、岡山県は『インフルエンザ警報』を発令し、一層の注意喚起を図ることとしました。

地域別では、倉敷市（71.69 人）、備中地域（31.50 人）、岡山市（27.05 人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。ほぼ全ての地域で患者報告が増加しており、真庭地域（6.33→17.67 人）、美作地域（6.70→14.00 人）では前週より大きく増加しました。発生レベル 3 の地域は、前週にひきつづき倉敷市・備中地域、発生レベル 2 の地域は、新たに真庭地域・美作地域となり、全ての地域が発生レベル 2 以上となりました。

第 6 週学校等の臨時休業は、136 施設と前週にひきつづき多くの施設から報告がありました。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは流行期に入っています。 さらなる感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50~60%)を保ちましょう。

【 かかったかな？という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

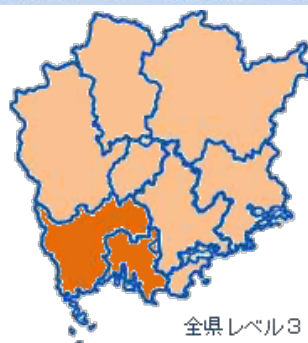
1.地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2846		備 中	患者数	378	
	定点あたり	33.88			定点あたり	31.50	
岡山市	患者数	595		備 北	患者数	152	
	定点あたり	27.05			定点あたり	25.33	
倉敷市	患者数	1147		真 庭	患者数	53	
	定点あたり	71.69			定点あたり	17.67	
備 前	患者数	381		美 作	患者数	140	
	定点あたり	25.40			定点あたり	14.00	

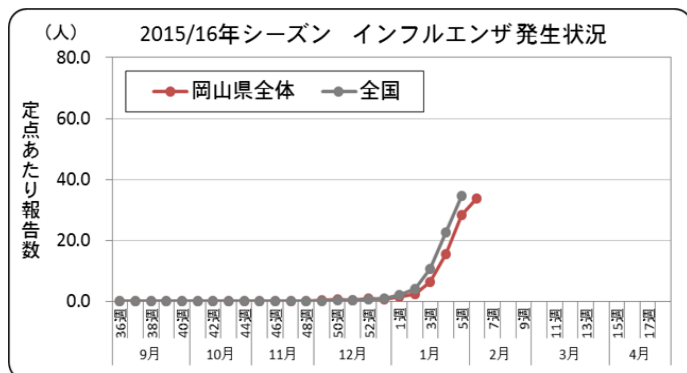
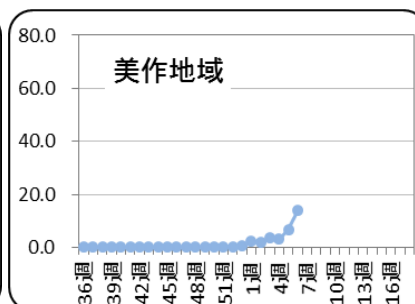
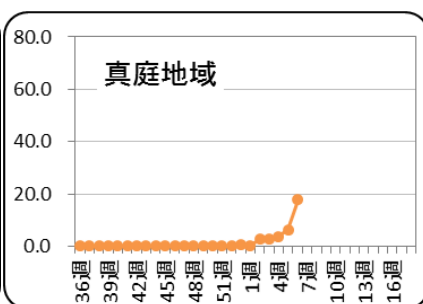
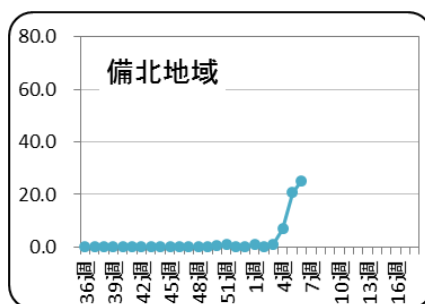
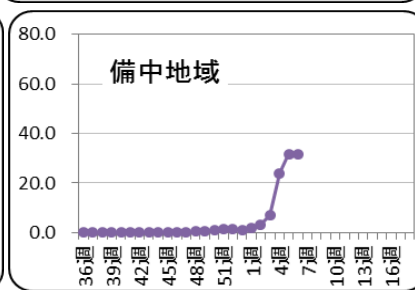
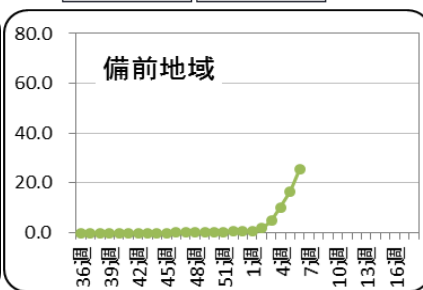
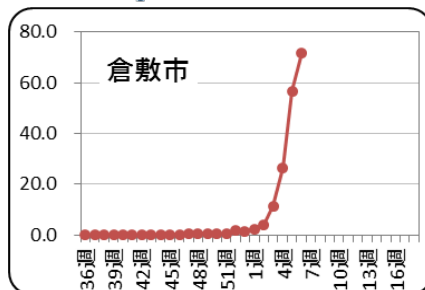
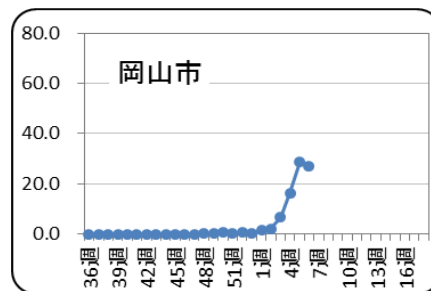
【記号の説明】 前週からの推移  : 2 倍以上の減少  : 1.1～2 倍未満の減少  : 1.1 未満の増減
 : 1.1～2 倍未満の増加  : 2 倍以上の増加

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値	基準値	基準値
0 < 10 未満		0

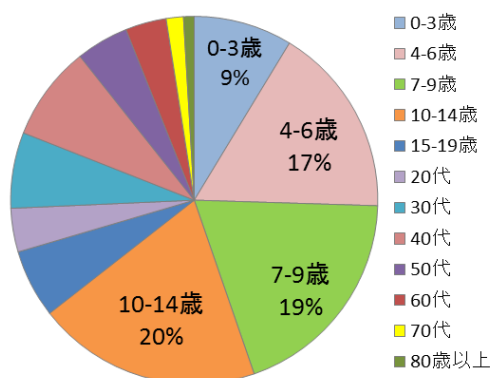


全国集計第5週（2/1～2/7）速報値によると、全国の定点あたり報告数は34.66人となり、前週（22.57人）より大きく増加しました。都道府県別では、神奈川県（48.95人）、埼玉県（47.52人）、愛知県（45.24人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。24都道府県で警報レベルを超えており、その他全ての府県で注意報レベルを超えています。

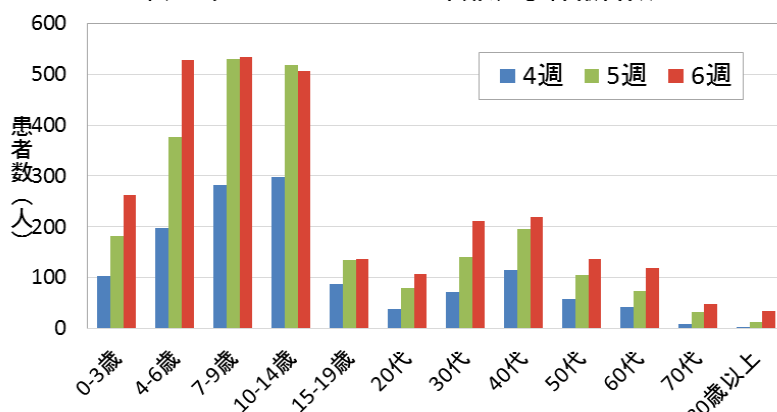
2. 年齢別発生状況

今シーズンの年齢別累計割合は、10～14歳 20%、7～9歳 19%、4～6歳 17%の順で高くなっています。週別の年齢別患者報告数をみると、特に6歳以下の低年齢層で前週より増加がみられました。

岡山県 インフルエンザ年齢別累計割合
(2015年第36週～2016年第6週)



岡山県 インフルエンザ年齢別患者報告数



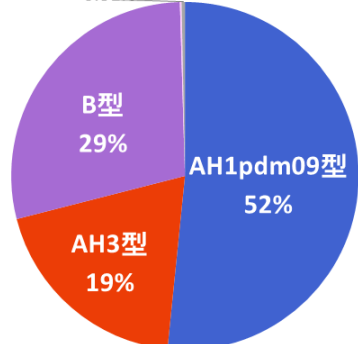
3. インフルエンザウイルス検出状況

第6週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、12株でした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型 18株 (55%)、B型 (山形系統) 12株 (36%)、AH1pdm09型 3株 (9%) となっています。

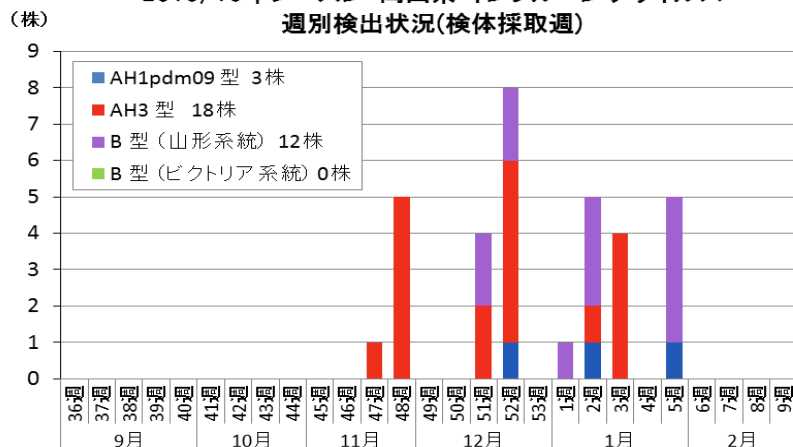
【第6週判明分】

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスB型	2016年第5週(2/1～2/7)	2016/2/3	備前	小学生	女	集団発生事例 山形系統
インフルエンザウイルスB型	2016年第5週(2/1～2/7)	2016/2/3	備前	小学生	男	集団発生事例 山形系統
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2016年第5週(2/1～2/7)	2016/2/2	美作	小学生	男	集団発生事例
インフルエンザウイルスB型	2016年第5週(2/1～2/7)	2016/2/1	備北	小学生	男	集団発生事例 山形系統
インフルエンザウイルスB型	2016年第5週(2/1～2/7)	2016/2/1	備北	小学生	男	集団発生事例 山形系統
インフルエンザウイルスAH3型	2016年第2週(1/11～1/17)	2016/1/14	備中	小学生	男	
インフルエンザウイルスB型	2016年第2週(1/11～1/17)	2016/1/14	備中	小学生	男	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2016年第1週(1/4～1/10)	2016/1/4	備中	幼児	女	山形系統
インフルエンザウイルスAH1pdm09型	2015年第52週(12/21～12/27)	2015/12/24	備中	幼児	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第52週(12/21～12/27)	2015/12/24	備中	中学生	男	
インフルエンザウイルスB型	2015年第52週(12/21～12/27)	2015/12/24	備中	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスB型	2015年第51週(12/14～12/20)	2015/12/15	備中	10代	女	山形系統

2015/16年シーズン
全国インフルエンザウイルス検出割合



2015/16年シーズン 岡山県 インフルエンザウイルス
週別検出状況(検体採取週)



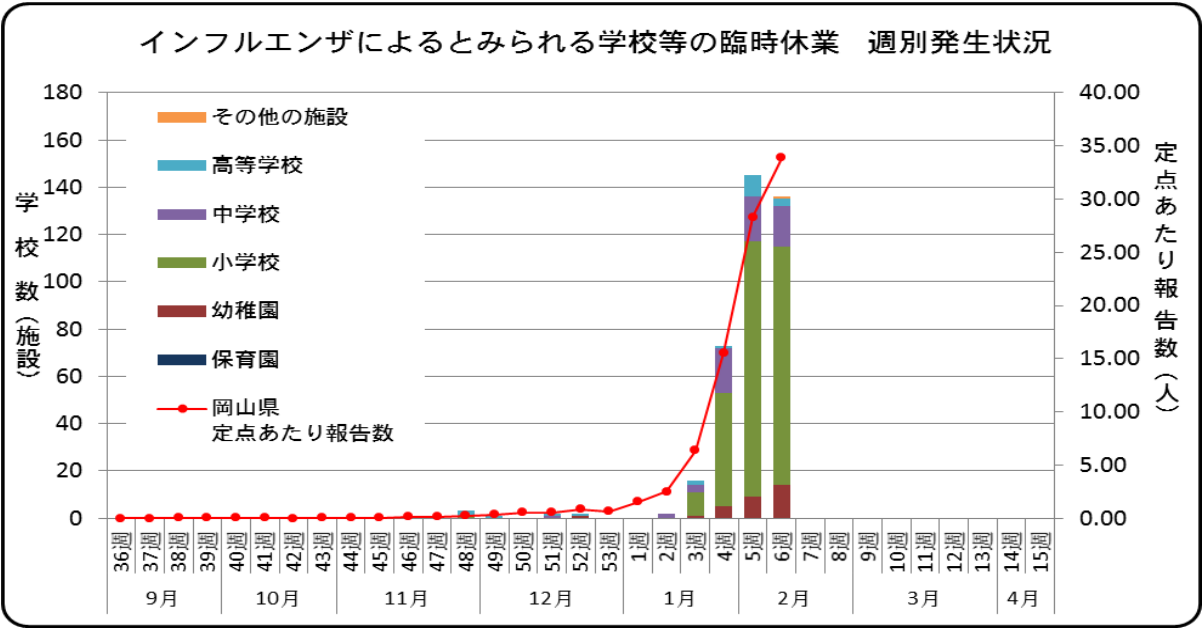
今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 657株 (52%)、B型 363株 (29%)、AH3型 247株 (19%) となっています。(2016年2月12日現在)

[インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 136 施設でありました。

【第 6 週 臨時休業施設数】▽岡山市 50 ▽倉敷市 39 ▽総社市 10 ▽高梁市 7 ▽玉野市 3 ▽備前市 3
▽井原市 2 ▽新見市 2 ▽瀬戸内市 2 ▽赤磐市 2 ▽真庭市 2 ▽和気町 2
▽早島町 2 ▽矢掛町 2 ▽吉備中央町 2 ▽津山市 1 ▽浅口市 1
▽里庄町 1 ▽鏡野町 1 ▽勝央町 1 ▽奈義町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	2061	6701	1526	4933	136	380	2	3	31	60	103	317	H27.11.24
岡山市	772	2920	558	2105	50	148	—	—	9	17	41	131	H27.11.24
倉敷市	694	2176	506	1601	39	122	1	2	2	6	36	114	H27.12.15
備前地域	195	387	139	288	14	24	—	—	6	12	8	12	H27.11.24
備中地域	241	950	197	721	19	63	—	—	5	14	14	49	H27.11.24
備北地域	76	87	51	60	9	10	1	1	6	6	2	3	H28. 2. 3
真庭地域	43	49	43	49	2	3	—	—	2	3	—	—	H28. 2. 1
美作地域	40	132	32	109	3	10	—	—	1	2	2	8	H28.1.25

2) 臨時休業施設数の内訳

第 6 週：136 施設

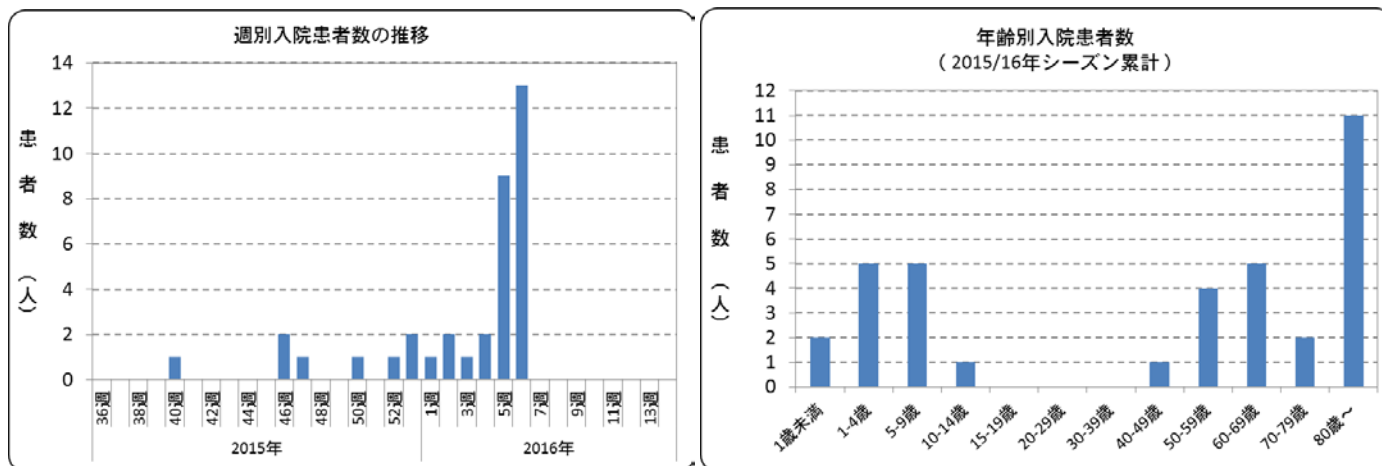
累計：380 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	14	30	101	268	17	61	3	20	1	1

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、13 名（1～4 歳 4 名、5～9 歳 2 名、50～59 歳 2 名、60～69 歳 3 名、80 歳以上 2 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 6 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数		4	2						2	3		2	13
ICU 入室										1			1
人工呼吸器の利用										1			1
頭部 CT 検査(予定含)		2							1	1			4
頭部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査 (予定含)		1											1
いずれにも該当せず		2	2						1	1		2	8

* 重複あり

【2015 年 8 月 31 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	5	5	1				1	4	5	2	11	36
ICU 入室			1						1	1			3
人工呼吸器の利用			1						1	1	1		4
頭部 CT 検査(予定含)		3							1	1	1	2	8
頭部 MRI 検査 (予定含)				1								1	2
脳波検査 (予定含)		1	1										2
いずれにも該当せず	2	2	4					1	1	3		9	22

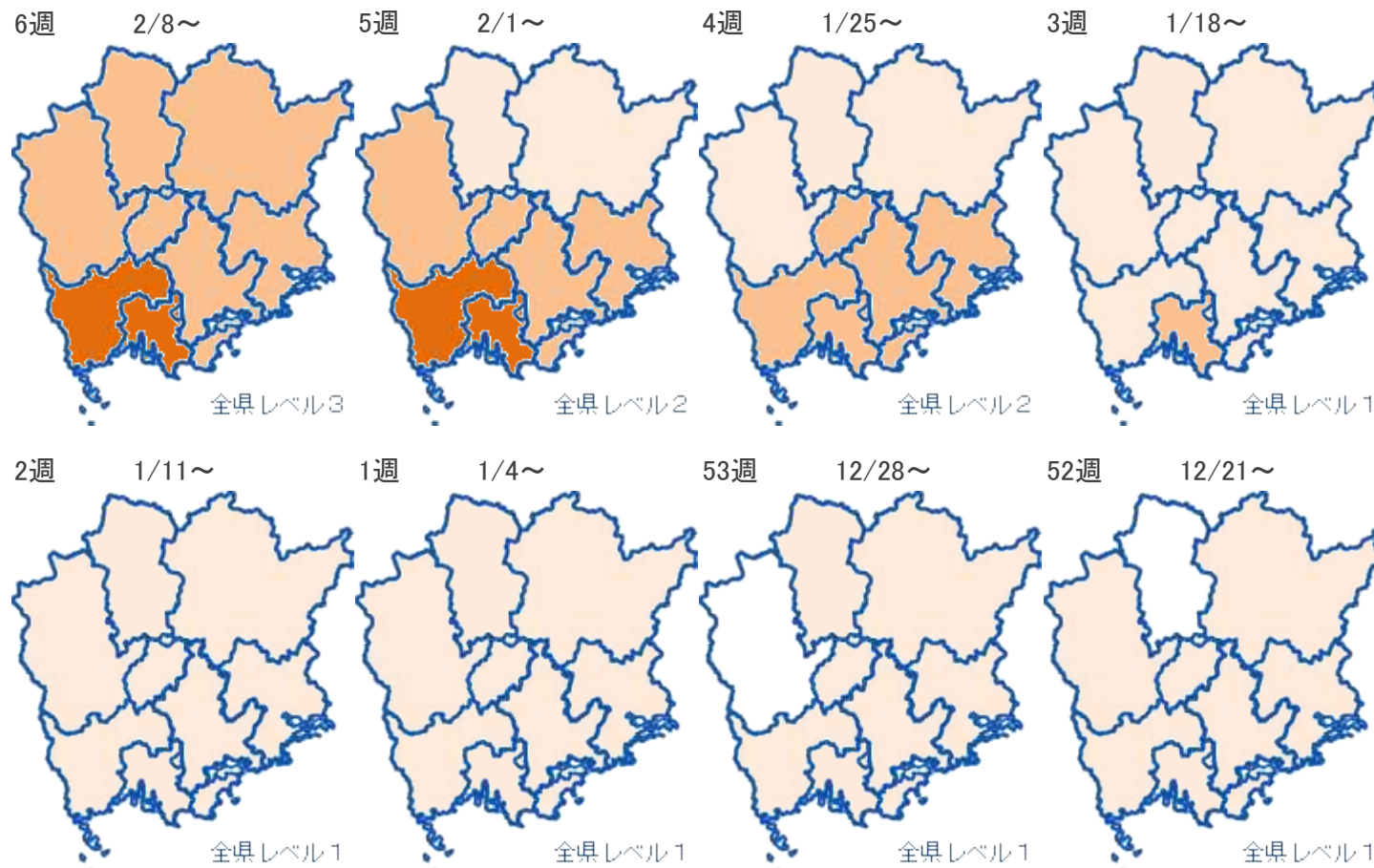
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2016年 6週

2016年2月16日

15:10:34



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。